市民視点の映画を紹介する

共感シネマ館

VOL.22

『未完の映画』をめぐる話

今月の館主　島田隆一（映像制作者）

今回は趣向を変え、大学生が作った未完成の映画についてのお話をしたい。未完成であるということは、当然、タイトルもまだない。

知り合いのプロデューサーである大澤一生氏から電話をもらったのは、2013年の6月頃だったと思う。「筑波大学の学生がドキュメンタリー映画を作るので、手伝って欲しい」。詳細をほとんど聞けないまま、駆り出されることになったのだ。

筑波大学には創造的復興プロジェクトというものがある。東日本大震災で被災した地域や人たちに対して、筑波大学の芸術系をはじめとした多領域が協働して展開する復興支援プロジェクトだ。この一環として筑波大学生がいわき市に行き、ドキュメンタリー映画を作るということに決まったらしい。普段、ドキュメンタリー映画にはほとんど馴染みの無い学生たちばかりなので、私には無謀とも思えるプロジェクトだ。しかし面白いと思ったのは「大学生が作る」ということだった。私は映画を作る時こそが、「世界」について考えることができると思っている。「世界について考える」ということとても大仰なことに聞こえるが、「私とは何か？」「生きるとは何か？」「歓びとは何か？」などについて考え続けられるということだ。それを大学生と一緒にできるというのは、私にとってはとても楽しみだった。そして、もう一つ興味深かったのは、震災から2年と半年経ったいわき市を取材するということだ。私は映像を作る仕事を生業としていながら、被災地への取材を避け続けていた。あまりにも現実に起こった出来事の大きさに、勇気が無かったのだ。

しかし、私はかつてこの『共感シネマ館』で映画『無常素描』について書いた際、最後にこう締めくくっていた。

「私自身ができることは何かという事を考え続け、実行していきたいと思っています。」

そのことを思い出し、私は、これも何かの縁であり、これならば私にもできると思ったのだ。

7月から、学生10人を4班に分け、撮影特講を行った。実際にいわき市への予備取材も2度ほど行い、対象者を見つけ出し、出演の交渉をした。そして9月1日から1週間、合宿形式で撮影に挑んだ。連日、早朝から取材、夕方には帰ってきて、夜はその日撮った映像を皆でチェックする。チェックが終わると、明日の撮影に挑むための準備だ。合宿も中盤を過ぎたあたりから、学生たちの疲労はピークに達していた。

私は合宿最後の3日間、学生たちと一緒に現地を回った。私が同行した班は、富岡町から避難している方々が住んでいる仮設住宅を取材していた。富岡町の方たちは、震災当時の様子やこの2年半の生活を、時には涙ながらに、時には笑い飛ばすように語ってくれた。インタビュー中に泣き出してしまう学生もいて、彼らにとっても貴重な経験となったのだろうと思う。その取材を終えた帰り道、一人の学生が、「島田さんや大澤さんがなんでドキュメンタリー映画を作るのかが、なんとなく分かった気がした」といった。ドキュメンタリー映画は良くも悪くも、現実に生きている人たちを撮影し、一つの作品にする。それを作る過程には人との出会いがあり、その出会いから私たちは何かを感じ、考えるきっかけを与えられる。きっとその学生も、私と同じようなことを感じたのだと思い、うれしくなった。

撮影合宿から3カ月が経つ。この稿を書いている12月現在、編集作業の真っ只中だ。音楽の発注も済み、次の打ち合わせではタイトルが決まる。そして14年の2月からはお披露目上映を行っていく予定だ。

※編集部注：発行直前に「タイトル決定『いわきノート』」の一報が飛び込んできました。

※普段皆さんがご覧になる映画とは少し違うかもしれませんが、実際にこの映画をご覧になった後、学生たちと直接お話をして頂けるような出会いがあればと思い、紹介させて頂きました。ドキュメンタリー映画は、作る時にも出会いがあり、それを観る時にもまた、出会いがあるのですから。

「共感シネマ館」はコピーフリーです。映画の内容に「共感」したら、
この誌面を複写してお友達、お知り合いにご紹介ください。

撮影風景

●今月の館主

島田 隆一（しまだ りゅういち）

イラスト：杉浦 健

東京都出身。1981年生まれ。03年、日本映画学校を卒業後、主に企業用PR映像の制作に携わる。05年にドキュメンタリー映画『1000年の山古志』（09年公開・橋本信一監督）に助監督として参加。12年に初監督作品『ドコニモ イケナイ』を公開。同作品で2012年度日本映画監督協会新人賞を受賞。

お披露目上映の予定

2014年2月16日（日）
13:30開場、14:00開演
いわき芸術文化交流館
アリオス 小劇場
（福島県いわき市平字三崎1番地の6）

お問い合わせ

筑波大学 芸術系 創造的
復興支援プロジェクト室
担当：飯田、橋本
〒305-8574 茨城県つくば市天王台1−1−1
Tel.029-853-2813
mail:cr@geijutsu.tsukuba.ac.jp
URL:http://www.geijutsu.tsukuba.ac.jp/~cr/